

今回は、地下鉄東西線「バスセンター前」駅2番出口徒歩2分、北海道四季劇場のすぐ隣にある就労継続支援A型・B型 ポラリスにお邪魔して、色々とお話を伺ってきました。

てく Take ちゅう Walking 32 『お仕事拝見！』

ポラリスは、平成27年2月16日に設立されました。現在の利用者数はA型・B型それぞれ10名となっております。身体障がいのある方を中心に、知的障がい、精神障がいなど様々な方が、体調を見ながら自分のペースで通われているそうです。スタッフ9名も加え、お昼は全員食堂に集い、調理員が作った美味しい給食を食べます。

ここからは、具体的な作業内容について見ていきたいと思います。

1 着物リユース製品の販売
もう使用しない着物の寄付を募り、一旦生地の状態に戻します。その後、ポシェットや帽子、ダブルポーチ、バッグなどの様々な商品に作り直して販売しています。

これらの商品は、「元気ショップ」「元気ショップいこーる」のほかに、毎月の区民センターや駒岡保養所での販売会、年2

回行われる地下歩行空間での展示販売会など幅広い場所で販売されています。

売れ筋商品は帽子で、9月だけで元気ショップで35個も販売されました。1人で複数個購入する方も多く、作ったそばから売れていく状態になっているそうです。

商品が売れることで、利用者の方のモチベーションも上がり、新たな商品の開発を積極的に行うなど、よい循環になっているとのこと。



リユース製品人気No.1の帽子。夏用、冬用各種取り揃えています。

2 布製品等の受託製作

札幌市交通局が使用している腕章や、タクシールの屋根にしている「交通安全」の小旗など、様々な商品の製作を受託しています。

取材当日は、ラーメン店で使用するのぼりの縫製を皆さんで行っていました。

納期に間に合わせるために利用者全員が協力することで、単に作業をするだけではなく、チームワークや一体感が出てくるといった、二次的な効果も期待できます。

3 文化人形の製作・販売

利用者が、手作りした文化人形の販売も行っています。

本人がブログで紹介したところ、注目を集め、現在では地方から注文が来るほどの人気商品になっているとのこと。

最後に事業所のPRポイントを伺いました。

「できる範囲で縫製全般をお受けしています、例えば医療用品の

オーダーメイドや、障がいに合わせ着やすくする衣服のお直しも行っています。

お気に入りの服が障がいや病気などの影響で着られなくなってお困りの方は是非ご相談ください。

利用者の3割が聴覚障害者ですが手話を教えあったりすることで、「コミュニケーション向上」にも努めています。今後も気軽に話ができる環境作りに心がけ、さらなる利益につながるクリエイティブな商品制作を目指していきたいと思っています。



文化人形、バッグインバッグ、ポシェットなどの小物も人気です。

〈問い合わせ先〉0660・0041
札幌市中央区大通東2丁目8番地5
プレジデント札幌2階
ポラリス
電話 011・211・5108
FAX 011・211・5107